

 中国・遼寧省における遺跡の調査と
研究についての講演会

2002年10月26日に、中国・遼寧省における遺跡の調査と研究について講演会を開催しました。演者と演題は、遼寧省文物考古研究所副所長・方殿春氏「査海文化における社会・経済形態—中国北方における農業の起源—」、同研究員の梁振晶氏「2000～

2001年度における石碑地遺跡の保存と復元」、同研究員の孫立学氏「恵寧寺について」です。当日は、研究所外からも多くの参加者を得ました。普段は目にする機会の少ない中国東北地方における遺跡の調査研究をスライドで見ることができ、充実した講演会となりました。

この講演会は、遼寧省文物考古研究所と奈良文化財研究所が「日中古代墳墓副葬品の比較研究」というテーマで進めている共同研究の一環です。毎年、3～5人程度の研究員がお互いの研究所を訪問し、実際に両国の遺跡を訪れ、遺物を手に取る機会を得ています。講演会は今回が初めての企画でしたが、今後も相互の研究を理解し、公開する場を設けていきたいと考えています。

(平城宮跡発掘調査部 豊島直博)



梁振晶氏による講演